



【小学校】特別の教科 道徳

平成30年9月11日（火）深谷市立教育研究所
授業者 北部教育事務所 芳賀 一行 指導主事

1 模擬授業のポイント

（1）道徳科の特質の理解

（前略），よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため，道徳的諸価値についての理解を基に，自己を見つめ，物事を※1多面的・多角的に考え，自己の生き方※2についての考えを深める学習を通して，道徳的な判断力，心情，実践意欲と態度を育てる。

「小学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳 第1目標」

※1 中学校は「物事を広い視野から」※2 中学校は「人間としての生き方」

- ・道徳性＝内面的資質

（2）考え、議論する道徳（主体的・対話的で深い学び）

「考え」＝主体的に自分との関わりで

「議論する」＝協働的に多様な考え方、感じ方と出会い交流する

- ・「価値理解・人間理解・他者理解・自己理解」を深める
- ・「匠の技」にある学習指導過程（共感・葛藤・覚醒・自己を見つめる）を通して中心発問に十分に時間をとり、話し合いや語り合いを大切にしてきた「道徳の時間」を積み重ねる

（3）指導と評価の一体化

「学びの姿」から

- ・教師の指導に生かされ、児童生徒の成長につながる評価を
- ・「学びの姿」＝学習状況や道徳性に係る成長の様子
- ・道徳性の評価や数値などによる評価は行わず、大きくりなまとまりで、認め励ます個人内評価を行う

2 参加者の感想

- 模擬授業に参加して、児童の発言にとまどう気持ちなどを実際に感じる事ができた。導入、展開、終末において注意すべきことや工夫の仕方も詳しく教えていただく事ができた。展開の葛藤場面では本当に心が揺れ動き、どうしよう・・・と迷い、周りの人の意見もよく聞く事ができた。今までの自分を振り返り、自己を見つめ直し、自然と未来へと考えを深めることのできる授業ができるようにしていきたい。
- 今年度から教科となり、以前とはどのような違いがあったのか、不安に思っていたことがすっきりしました。道徳と学級経営と学力向上の切っても切れない関係を改めて確認でき、より一層道徳を充実させていかなければならないと思いました。

3 模擬授業の様子



第6学年〇組 道徳科学習指導案（※参考）

平成30年9月11日（火）第〇校時

授業者 芳賀一行

- 1 主題名 目標に向かって 内容項目 [A 希望と勇気, 努力と強い意志]
- 2 ねらい 夢に向かって力を尽くす主人公の気持ちに自我関与する学習を通して、希望をもち続け、くじけずに努力して自らの課題に立ち向かおうとする心情を育てる。
- 教材名 「道ひとすじに ー日本最初の公認女性医師 荻野吟子ー」
 （出典「彩の国の道徳」(高学年)『夢に向かって』県教委H22.2)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

小学校5学年及び6学年の指導の観点は、「より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと」である。 - 略 -

(2) これまでの学習状況及び児童の実態

本学級の児童は、 - 略 -

本主題にかかわる実態調査からは、 - 略 -

また1学期の〇〇の学習では、 - 略 -

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、女性が医師になるという、当時まだ誰も成し得なかったことを不屈の精神で乗り越えて実現した、埼玉県の偉人「荻野吟子」を主人公として、吟子が医者になることを志してから医者になるまでを大きく4つの場面で構成されている。

①若くして病気になり女性医師がいないことで嫌な思いをしている同じ境遇の女性達を救いたいと医者になることを志す。

②当時は女性が医師になる前例が無く、進学先がなく周囲からも猛反対される。

③努力を重ね優秀な成績で医学校を卒業するが、女性であるために開業試験を受けさせてもらえず医師を目指す道が閉ざされる現実につぶかる。

④吟子の努力とまわりの人の協力により、日本で初めての公認女性医師となることができる。

指導にあたっては、 - 略 -

以上の理由から、本主題を設定した。

4 学習指導過程

段階	学習活動・主な発問	・予想される児童の発言	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入	1 アンケートの結果を知る。 ・夢があると回答した人は何%くらいだと思いますか。	・全員 ・夢がない人はいないはず	・事前の意識調査をもとに、ねらいとする道徳的価値への方向付けを図り問題意識をもてるようにする。
展開	2 教材について知る。		・カードなどを使い、わかりやすくなおかつ簡潔に行う。

	<p>登場人物 荻野吟子 主人公 石黒先生</p> <p>条件・情況 江戸時代末期（嘉永4）に、現在の埼玉県熊谷市に生まれた。若くして病に苦しみ4年間の入院生活を送ったが、その時代に女性医師はおらず、嫌な思いをした。19才の吟子は、同じような経験をしている女性を救いたいと医師になる決意をする。</p>		
<p>3 教材の読み聞かせを聞き、主人公の気持ちを中心に話し合う。</p> <p>①進学先がなく、家族や周りの人に反対された吟子はどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>②医者になるための開業試験を受けさせてもらえない吟子はどんなことを考えたでしょう。</p> <p>③開業試験に合格し、日本初の公認女性医師になった吟子は、どのような思いだったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・悲しい。 ・むかむかする。 ・なんで私のやりたいことに反対するの？ ・諦めたほうがいいのか。 ・でも挑戦したい。 ・ここまでやってきたのに悔しい ・今までの努力が無駄になってしまう。 ・女性というだけでおかしい。 ・違う道に進んだ方がいいのかもしれない。 ・国の制度だから仕方がない。 ・夢が叶った。 ・途中で諦めなくてよかった。 ・今までの努力が報われた。 ・これからも女性のためにがんばっていこう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共感を価値の追究の手がかりに、主人公の立場で生き方を考えられるようにする。 ・主人公の仮面を感覚的にかぶせ、感情移入を図り、追体験ができるようにする。 ・補助発問を効果的に行い、吟子の心情を考えられるように話題をつないでいく。 ・優秀な成績で医学校を卒業したにもかかわらず、国の制度という壁にぶつかり試験すら受けさせてもらえない状況に悩む吟子の葛藤を考えられるようにする。 ・「受け続ける」「違う道に進む」の2つの立場にわけ、体育帽子の裏表を活用し、揺れ動く主人公の心情や考え方を話し合い、ねらいとする価値に迫る。 ・希望を絶やさずに努力し続けたことで得られた達成感に気がつけるようにする。 <p>☆揺れ動く主人公の気持ちを通して、立場を明確にし理由を伝えることで多面的・多角的に話し合っている。（発表・表情・つぶやき）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の「がんばる」についてじっくり考えられるようにす
<p>4 自己を見つめる。</p> <p>・今まで自分で決めた目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会のリレーの練習を毎日続け、1位にな 		

	標やめあてに向かってがんばったことやがんばっていることはありますか。	<p>ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 苦手なテストで100点がとれるように自主学習をがんばって、100点をとることができた。 ・ 将来の夢に向かって、勉強をがんばっている。 ・ 県大会にでられるようにスポーツの練習をがんばった。 	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちにも目標に向かって努力していることがあるということに気がつかせ、その努力の積み重ねが自分の夢につながるっていくことを考えられるようにする。 <p>☆目標に向かって力を尽くすことについて自らを振り返り、努力や強い意志、夢について考えを深めている。(発言・表情・ノート)</p>
終末	5 「私たちの道徳」 P 26を読む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夢に向かって努力していくことを心にそっと決意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夢に向かって一步を踏み出せるような雰囲気をつくるようにする。

5 他の教育活動との関連

- 略 -

6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・ 主人公に自分を投影しながら考え、話し合っている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・ 夢や目標に向かって力を尽くすことについて自分との関わりで考えている。

7 板書計画

絵

○日本初の公認女性医師になった時

- ・ 途中で諦めなくてよかった
- ・ 夢が叶った 感動 石黒先生に感謝
- ・ これからも女性のために 夢に向かう 努力続けること

絵

○進学先がない、家族や周囲に反対された時

- ・ 悲しい
- ・ むかむか
- ・ やりたいことをやらせて、なんでダメか

○医者になる開業試験を受けさせてもらえない時

- ・ 学費をかせぐ
- ・ 男になりきって勉強(指さされ笑われる)
- ・ 四キロの道を歩いて学校

○ここまでがんばってきたのに

- ・ 今までの努力が無駄に
- ・ 国の制度だから仕方がないか

受け続ける ↑ ↓ 他への道へ

主人公 荻野吟子 石黒先生

道ひとすじにー日本最初の公認女性医師

・ 埼玉県熊谷市生まれ

・ 若くして入院

・ 一九才で医者になる決意